

文献番号	標 題《著・編者》
97-118	家庭・仕事・結婚についての意識と行動の国際比較 (I)～ISSP国際比較調査から～《真鍋一史, 他》
97-119	家庭・仕事・結婚についての意識と行動の国際比較 (II)～ISSP国際比較調査から～《真鍋一史, 他》
97-122	少子化と社会保障に関する一考察—子育てにおける家族の自助原則と社会保障をめぐって—《永山くに子》
98-001	少子化抑止に向けた施策対応の方向性《木原真一》
98-002	女性の就業意識と就業選択 結婚・出産・育児に直面して《富田安信》
98-003	いつ産むか《長田渚左》
98-006	家族戦略と家族政策—母親の就業と保育方法をめぐって—《小島宏》
98-007	少子化の原因と価値観《鈴木りえこ》
98-023	岐阜を考える 特集:いま、なぜ少子化を考えるのか《岐阜県産業経済研究センター編》
98-026	少子化とジェンダー—出産の意志決定にみられるジェンダー—《岩間暁子》
98-037	アムロ結婚 それでも少子化が止まらない理由《寺澤資成》
98-039	保育政策が産出の意志決定と就業に与える影響《大日康史》
98-040	「女性の結婚・出産と就業に関する実態調査」調査結果《[医療経済研究機構]》
98-041	少子化に関するインタビュー調査の分析—子供には手をかけたいので結婚と出産を遅らせる—《永瀬伸子》
98-045	現代夫婦の子どもの生み方—第11回出生動向基本調査の結果から—《高橋重郷, 他》
98-046	厚生白書 平成10年版 少子社会を考える—子どもを産み育てることに「夢」を持てる社会を—《厚生省》
98-052	出生動向の経済学的解釈とその実証分析《加藤久和》
98-053	少子化対策の経済分析《大森正博》
98-054	女性の就業、結婚と出産の決定要因—全国都市データを用いた実証分析《永瀬伸子》
98-056	子育てに関する意識調査事業調査報告書(概要版)《こども未来財団》
98-057	23世紀に向けてのわが国の出生の動向とその要因《こども未来財団》
98-069	出生率は上昇するか《岡崎陽一》
98-071	少子化現象と母性意識《倉重加代》
98-073	日本人の結婚と出産—第11回出生動向基本調査—《国立社会保障・人口問題研究所》
98-083	少子社会に対する企業及び労働組合の意識と対応に関する調査研究《鈴木不二一, 他》
98-084	諸外国における男性の育児参加に関する調査研究《日本労働研究機構編》
98-087	人口減少社会、未来への責任と選択 少子化をめぐる議論と人口問題審議会報告書《人口問題審議会編》
98-088	少子化に関する基本的考え方について—人口減少社会、未来への責任と選択— 人口問題審議会報告書 平成9年10月(第1部)《[人口問題審議会]》
98-089	出産力拡大が自己目的化した現代社会を見直す《正村公宏》
98-095	苦勞してまで子どもをたくさん産もうとは思わない?—少子化の社会・心理要因に関する調査研究《山田昌弘, 他》
98-097	イギリスにおける親になることと家族生活《キアナン,C.E.》
98-098	ヨーロッパ連合EU15か国の人口置換水準以下の出生力—1960～1999年の動向と政策—《シェネ、ジャン＝クロール》
98-100	少子化の経済的要因とその対応《八代尚宏》
98-103	少子化現象のジェンダー論—性役割分業社会とリプロダクティブ・ライツ—《目黒依子》
98-104	第11回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査 夫婦調査の結果概要《高橋重郷, 他》
98-105	近年の夫婦出生力変動とその規定要因 (特集 日本人の結婚と出産(その1))《佐々井司》
98-106	わが国の夫婦における妊娠・出生の調節—妊娠歴の分析—《佐藤龍三郎、岩澤美帆》
98-107	結婚・出産期の女性の就業とその規定要因—1980年代以降の出生行動の変化との関連より— (特集 日本人の結婚と出産(その1))《新谷由里子》
98-110	「少子化」時代、女性意識に変化が《佐藤正伸》
98-113	出産の外部性と人口政策《大淵寛》
98-115	家族計画とリプロダクティブ・ヘルス《佐藤龍三郎》
98-116	ジェンダーと人口問題《津谷典子》
98-119	地域の視点から少子化を考える—結婚と出生の地域分析—《国土庁計画・調整局》
98-121	予定子ども数と理想子ども数《濱本知寿香》
98-125	少子化を考える《井上俊一》
98-127	都市生活に関する世論調査《東京都政策報道室都民の声部調査広聴課編》
98-128	日本人口の状況と問題《岡崎陽一》
98-133	情報化社会と子育てに関する研究1—子育て層(20代、30代)の育児観と情報環境—《斎藤進, 他》
98-140	育児休業制度の助成の結婚と就業継続への影響《滋野由紀子, 他》
98-141	育児休業制度の普及と女性雇用者の勤続年数《森田陽子, 他》
98-145	人口問題について《伊部英男》
98-166	「家族」の未来「ジェンダー」を超えて 毎日新聞社・第24回全国家族計画世論調査《毎日新聞社人口問題調査会編》
98-173	わが国の戦後の婚姻、離婚、嫡出・非嫡出別出生、嫡出・非嫡出別死産の動向に関する一考察《西田茂樹, 他》
99-001	少子化と価値観をめぐる一考察《鈴木りえこ》
99-004	子供数を考慮した出産行動の分析《大日康史, 他》
99-005	出産・育児による離婚女性の求職活動 「平成10年度福岡県女性労働実態調査」より《坂口桂子》
99-006	母親の就労の有無による育児の諸問題《伊藤わらび》

文献番号	標 題《著・編者》
99-012	結婚・出産に関わる男女間の意識の相違と出産コスト観 《江原由美子》
99-013	ジェンダーシステムと育児コスト―「出産する／しない」という選択の規定要因について 《岩間暁子》
99-014	女性の結婚意欲と出産意欲―ジェンダー意識とジェンダー関係との関連性の分析― 《釜野さおり》
99-017	出生・結婚および労働参加の動学分析―構造型VARによるアプローチ― 《加藤久和》
99-018	出生力のライフ・サイクル・モデル分析―結婚と出生の間隔・タイミングとその要因― 《和田光平》
99-019	日本における結婚・出生率変動の分析―イースタリンの相対所得仮説の適合性について― 《原定理恵》
99-021	少子化現象と居住コスト 《浅見泰司, 他》
99-022	育児の経済コストと出生力 《高山憲之, 他》
99-023	少子化のジェンダー分析 《目黒依子, 他》
99-024	少子化の総合化モデル 《大淵寛, 他》
99-025	少子化現象と居住コスト 《浅見泰司, 他》
99-029	核家族世帯の出産に関わる擬似的居住コストの分析 《浅見泰司》
99-030	少子化と日本経済―子育てコストとの関連で― 《高山憲之》
99-031	子育てコストと出生率 《吉田浩》
99-035	女性の職種による出生・継続就業・経済的ハンディキャップの違い―家計生産モデルによる妻の就業行動と夫婦の出生行動説明の試み― 《仙田幸子, 他》
99-037	夫の職業・労働時間と妻の就業・出生行動及び結婚 《駿河輝和》
99-038	育児休業や育児支援制度の出生行動に及ぼす影響について 《駿河輝和》
99-039	国際比較に見る保育・就業支援制度と出生行動 《小島宏》
99-045	介護と保育に関する生活時間の分析結果 《経済企画庁経済研究所国民経済計算部》
99-048	女性の高学歴化と少子化に関する一考察 《白波瀬佐和子》
99-049	少子化社会における労働市場―女性の結婚と労働力供給の視点から― 《阿部正浩》
99-050	仕事と家庭の調和のための就業支援―日本的雇用慣行の変化のなかで― 《大沢真知子》
99-052	所得不平等化の背景とその政策的含意: 年齢階層内効果、年齢階層間効果、人口高齢化効果 《大竹文雄, 他》
99-053	出産・育児と女子就業との両立可能性について 《山上俊彦》
99-069	社会環境が結婚・出産・育児に与える影響に関する研究 《高野陽, 他》
99-077	社会環境が結婚・出産・育児に及ぼす影響に関する研究 《高野陽, 他》
99-080	児童の養育責任の系譜に関する研究―少子化問題の根本原因を探る― 《田澤薫》
99-081	近代日本における欧米の育児・保育論の受容と展開―養育責任に着目して― (厚生科学研究費補助金〔子ども家庭総合研究事業〕分担研究報告書②) 《内藤知美》
99-082	20世紀前半の出生率低下原因論と優生論の関係の分析 《松原良子》
99-083	母親の育児負担感に関する尺度化 《中嶋和夫, 他》
99-109	第11回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)―第Ⅱ報告書― 独身青年層の結婚観と子ども観 《国立社会保障・人口問題研究所》
99-114	住宅の広さと子供数にみる少子化現象への影響 《浅見泰司》
99-116	少子・高齢化の経済学 市場重視の構造改革 《八代尚宏》
99-131	「少子化」形成と教育変動―女子高学歴化に着目して 《平塚真樹》
99-132	少子化に関する世論調査 《(総理府)内閣総理大臣官房広報室》
99-144	少子社会を考える 《東京都職員研修所》
99-159	少子化の要因: 就業環境か価値観の変化か―既婚者の就業形態選択と出産時期の選択― 《永瀬伸子》
99-170	近代工業化と人口転換 《鬼頭宏》
99-171	文明の成熟と少子化 《鬼頭宏》
99-173	社会システムの成熟がもたらしたもの 《大塚柳太郎, 他》
99-178	少子化現象の基本的構造と対策に関する一考察 《米澤康隆》
99-182	人口統計分析手法 現代女性の就業と結婚・出生―ライフコースの視点から 《新谷由里子》
99-184	少子化: 結婚の変動か夫婦の少産化か? 《高橋重郷》
99-189	育児不安に関する要因の検討 《八幡裕一郎, 他》
99-190	若年者の性についての意識と行動に関する研究 第2報 青年の性と生活に関するアンケート調査 《宮原忍, 他》
99-191	育児不安に関する臨床的研究 V―育児困難感のプロフィール評定質問紙の作成― 《川井尚, 他》
99-199	雇用システムと少子化問題―パートタイム雇用を中心に― 《井口泰》
99-200	経済変動と女性の結婚・出産・就業のタイミング―固定要因と変動要因の分析― (第1章) 《樋口美雄, 他》
99-201	結婚・出産・離婚で女性の<生活満足度>はどのように変わるか―生活全般満足度と生活程度のパネル分析― (第7章) 《色川卓男》
99-218	北海道における少子化に関する研究 《北海道青少年育成協会》
99-221	少子化問題と今後の課題 《菱沼誠一》
Y00-010	人口減少社会へのキーワード 《藤正巖, 他》
Y00-011	生物寿命モデルと少子化問題
Y00-013	出生力が下がった理由―中進国でも始まった出生力低下
Y00-014	日本の出生力低下はなぜ起こったか―キーワードは経済力と未婚率
Y00-020	ライフサイクルについて考える―統計的な把握に関連して― 《大林千一》

文献番号	標 題 《著・編者》
Y00-022	出生率低下要因雑考 (統計耳囊 第3回)《松倉力也》
Y00-027	過疎化のシステム・ダイナミック・モデルの構築とその展開《原俊彦, 他》
Y00-031	家族計画便覧2000 少子高齢社会とリプロ・ヘルス《日本家族計画協会》
Y00-032	「不妊問題」の社会的構成―「少子化問題」における「不妊問題」言説を手がかりに《諸田裕子》
Y00-033	わが国の出生率低下にもう一つの背景《林謙治》
Y00-034	家族問題 危機と存続《清水新二編》
Y00-035	女性の結婚・出産および人的資本の形成に関するパネルデータ分析―出産退職は若い世代で本当に増えているのか《大沢真知子, 他》
Y00-037	共働き世帯における夫の家事・育児分担についての分析 (論文)《前田正子》
Y00-039	介護・保育サテライト勘定の研究結果 (資料)《経済企画庁経済研究所》
Y00-040	社会保障費用から見た「少子高齢社会」《勝又幸子》
Y00-048	日本における結婚と出生のハザード分析《和田光平》
Y00-076	現代家族と社会保障: 研究の課題と各章の要約《宮島洋, 他》
Y00-079	子どもの誕生と社会保障―個人的資源の増減をめぐる―《大久保孝治》
Y00-080	現代の親子関係の社会学的分析―育児社会論序説―《渡辺弘》
Y00-082	出生行動と社会政策(1)―先行研究の動向と「出産と育児に関する意識調査」の概要―《塚原康博》
Y00-083	出生行動と社会政策(2)―ヴィネット調査による出生行動の分析―《織田輝哉》
Y00-090	現代人口学 少子高齢社会の基礎知識《阿藤誠》
Y00-095	少子化に関する家族・労働政策の影響と少子化の見通しに関する研究《新谷由里子》
Y00-098	人口高齢化の要因《総務庁》
Y00-099	人口高齢化の要因《〔内閣府〕》
Y00-111	女性の人権としてのリプロダクティブ・ヘルス/ライツ《柘植あづみ》
Y00-112	男性にとってのリプロダクティブ・ヘルス/ライツ―(生ませる性)の義務と権利―《沼崎一郎》
Y00-113	子育てコストに関する調査研究報告書 平成11年度《こども未来財団》
Y00-115	男女共同参画社会と子ども家庭福祉《佐藤洋子》
Y00-117	家族・親子関係の行方《芝野松次郎》
Y00-118	子育ての社会化～今、これから《森田明美》
Y00-123	女性は今、子供を持つことにリスクを感じている《河野純子》
Y00-132	少子化と女性の労働市場への進出(上)《粥川正敏》
Y00-133	少子化と女性の労働市場への進出(下)《粥川正敏》
Y00-155	都心子育て世帯の居住ニーズ (調査報告)《野崎道代》
Y00-157	家族法を中心に民法改正の動き (海外法律情報 韓国)《白井京》
Y00-158	人口圧力・食域拡大説 (IV)《原俊彦》
Y00-159	序論 「少子化」の人口学的要因と研究課題《高橋重郷》
Y00-161	出生・結婚行動に社会経済環境が与える影響《大淵寛, 他》
Y00-163	わが国における女性の結婚と出産のタイミングと要因分析《和田光平》
Y00-164	少子化現象のジェンダー分析―男性の家庭役割へのかわりから―《西岡八郎, 他》
Y00-175	出産・育児環境の日仏比較《シヨルヴェ, ミュエル》
Y00-178	女性雇用管理基本調査結果報告書 平成11年度 ―育児・介護休業制度等実施状況調査―結果報告書《労働省女
Y00-179	家庭生活と就業の両立―近年、若年層の出産退職が増えているのはなぜなのか―《永瀬伸子》
Y00-194	『家族政策及び労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究』プロジェクト: 分析結果の要点と政策的含意《阿藤誠》
Y00-195	少子化現象と住宅事情《浅見泰司, 他》
Y00-196	出生、結婚および労働市場の計量分析 (特集 少子化と家族・労働政策 その1)《加藤久和》
Y00-197	ジェンダーからみた就業と家事―日本と韓国とアメリカの比較―《津谷典子》
Y00-199	結婚・育児の経済コストと出生力―少子化の経済学的要因に関する一考察― (特集 少子化と家族・労働政策 その2)《高山憲之, 他》
Y00-200	妻の職種別にみた子どもを持つことの経済的コストの違い《仙田幸子, 他》
Y00-201	「少子化」問題のジェンダー分析《目黒依子, 他》
Y00-202	第5章 日本の人口・世帯数の増加と住宅建設循環《石南國》
Y00-210	ビル発売から一年《北村邦夫》
Y00-212	出生力低下とその要因《河野稠果》
Y00-229	少子化の原因《鈴木りえこ》
Y00-242	女性のキャリア形成と出生の変化《大沢真知子》
Y00-243	少子化と子育て問題《森田明美》
Y00-245	女性の労働参加《渡辺真知子》
Y00-246	これからの国民性研究―人間研究の立場と地域研究・国際比較研究から計量的文明論の構築へ―《林知己夫》
Y00-255	高学歴女性の自尊心と性差観・育児感 大学卒業20年後の調査から《渡邊恵子》
Y00-256	日本都市の生活変動《中川清》
Y00-265	女性のキャリア志向の進展と出産のタイミング変化―新少子化社会到来の前兆か?―《小川直宏》

文献番号	標 題《著・編者》
Y00-267	未婚女性の性行動、低用量ピルに対する世論の動向《我妻堯》
Y00-282	少子化高齢化社会の福祉《兼清弘之》
Y00-283	「少子化」「子育て」を考える⑤《長田浩志》
Y00-284	「少子化」「子育て」を考える⑥《長田浩志》
Y00-292	高い勤労意欲、強い老後への不安 - 「少子・高齢化社会と生活」調査から - 《工藤敬吉》
Y00-293	少産少子と生物学的原理《荻田幸雄》
Y00-294	北海道における少子化に関する研究 Vol. 2《北海道青少年育成協会》
Y00-296	母子保健関連分野〔日本民族衛生学会創立70周年記念号-『民族衛生』掲載論文の分野別レビュー-〕《小林
Y00-297	生育環境が出生・育児行動に及ぼす影響-都市在住女性を対象にしたライフコース・アプローチの試み《吉永真理,
Y01-001	女性の雇用就業は少子化をもたらすか-子どもが持てる社会への舵転換を-《永瀬伸子》
Y01-011	少子高齢化と働き手《高橋重郷》
Y01-015	少子化する先進諸国における日本の位置付け-男女関係と出生調整行動の視点から-《岩澤美帆》
Y01-016	富山県の少子化要因を探る-年少人口割合は11年間、全国40位台を低迷-《仁木久司》
Y01-018	出生児数抑制への動機に関する一研究-出生停止理由と出生タイミング規定要因からの考察-《平松紀代子》
Y01-021	結婚と出産における時間関係《富吉素子》
Y01-023	「家族領域から仕事領域への葛藤」の規定要因と女性の就業行動との関係《吉田悟, 他》
Y01-024	NFR98結婚・出産による就業変化に関する調査項目の検討 (4)《嶋崎尚子》
Y01-025	家族とライフスタイルに関する研究会報告《家族とライフスタイルに関する研究会》
Y01-032	女性のマリッジ・プレミアム: 結婚・出産が就業・賃金に与える影響《川口章》
Y01-033	出産と妻の就業の両立性について-「消費生活に関するパネル調査」による実証分析《張建華, 他》
Y01-045	夫の育児遂行の要因 (12)《永井暁子》
Y01-047	親族・友人ネットワークと夫の家事・育児参加の関係-日本と米国の比較-《石井ケンツ昌子》
Y01-065	育児・就労に関する男性の意識変化《寺見陽子》
Y01-066	女性の職業別に見た結婚・出産・子育てに関する意識 就業や結婚はライフスタイルの選択肢に変化 多様な生き方を選ぶ「個人」単位の社会へ《目黒依子》
Y01-082	少子化社会における勤労者の仕事観・家族観《上林千恵子》
Y01-083	育児期の仕事と家庭《佐野嘉秀》
Y01-084	出産・育児・子どもに関する価値意識の諸類型《山下大厚》
Y01-088	家族政策と人口動態《岸智子》
Y01-090	子どものいる既婚女性の就業行動の地域差をもたらす要因は何か-「中心市」「郊外」「その他」の比較-《仙田幸子,
Y01-092	女子の就業と妊娠結果《小島宏》
Y01-095	1970年代以降わが国のコーホート別出生関数の測定および就業上の地位にみる要因分析-第11回出生動向基本調
Y01-097	調査(夫婦票)から-《和田光平》
Y01-097	同居選択と妻の就業決定《大石亜希子》
Y01-098	公務員女性の高出生力の背景を探る: 未婚男女の就業・結婚・子ども意識の実証分析《新谷由里子》
Y01-102	少子化現象のジェンダー分析(2)-男性の家庭役割と追加出生に関する意識《西岡八郎》
Y01-111	多変量解析結果分析〔「横浜市の子育て期世帯の居住移動実態調査」分析〕第3章《横浜市における子育て期世帯の居住移動に関する調査研究委員会編》
Y01-112	少子高齢化社会に対応した社会保障制度の構築に関する研究 研究報告書(第1分冊) 少子化に関する実証研究のサーベイ《少子化に関する実証研究サーベイ研究班》
Y01-128	人口動向の変化とライフサイクルの変化《高橋重郷》
Y01-130	地域移動と生活設計の変容: 少子化・未婚化をめぐる一考察《原田隆司》
Y01-131	女性労働者の活用と出産時の就業継続の要因分析《丸山桂》
Y01-132	人口分布変動がTFRに与えた影響《清水昌人》
Y01-143	出産・育児支援と出生率: EUと日本のマクロ分析《福田亘孝》
Y01-147	企業に多く潜む伝統的価値観《高橋重郷》
Y01-150	なぜ出生率が低下しているのか-女性の就業と出生率の関係について《大沢真知子》
Y01-165	結婚・出産・育児期の女性の就業とその規定要因 (特集 パネル・データにみる消費と生活)《鈴木春子》
Y01-170	育児期の有職女性のキャリア発達-生活役割満足感の横断的分析-《津田千鶴》
Y01-186	少子社会における個人および社会の養育力に関する母子保健学的研究 第一報 文献研究《宮原忍, 他》
Y01-189	女性の就業選択と保育条件に関する一考察《鈴木春子》
Y01-196	きょうだい数・出生順位と学歴《平沢和司》
Y01-228	日本の少子化と女子労働-新家政学的接近の限界に関する考察-《今井博之》
	少子化の経済・社会的影響(経済成長率低下・子供への影響。現役世代の負担・年金・医療費など)
90-001	人口高齢化時代の子供と老人《河野綱果》
90-008	出生・死亡変数の変化とその人口構造への影響-年齢別人口成長率を用いた分析-《高橋重郷》
91-005	公的年金と世代間の公平《堀 勝洋》
91-009	人口高齢化と公的年金《岩本康志, 他》
91-010	人口の高齢化とドイツの年金保険の改正《足立正樹》
91-019	人口問題に関する意識調査報告 平成2年度。《阿藤誠, 他》

文献番号	標 題《著・編者》
92-001	公的年金の世代間格差に関する研究《濱本知寿香》
94-003	人口高齢化と福祉政策の課題—スウェーデンの経験に学ぶ—《丸尾直美》
95-016	出生数と生残率の変動が老年人口比率と平均年齢に与える影響《大谷憲司》
95-027	高齢社会・何がどう変わるか《金子勇》
95-031	社会構造への影響は《柄本一三郎》
95-054	低出生力・労働時間短縮と労働供給《水野朝夫, 他》
96-019	出生率が変化するモデル《井堀利宏》
96-021	厚生白書 平成8年版 家族と社会保障—家族の社会的支援のために。《厚生省》
96-027	公共財としての子ども—社会経済理論の視点から—《杉野元亮》
96-031	人口問題に関する国民の意識構造の分析—「第2回人口問題に関する意識調査」の結果から—《金子武治, 他》
96-032	日本における人口高齢化に対する態度の規定要因《小島宏》
96-047	少子化対策について《真鍋伸子》
97-003	人口高齢化—人口高齢化は貯蓄率を引き下げるのか《村田啓子》
97-005	高齢化・少子化社会と住宅・社会資本整備報告書《建設省建設政策研究センター》
97-008	少子・高齢社会における社会保障《高山憲之》
97-013	人口構造と社会保障《岡崎陽一》
97-021	人口減少時代に向けて社会のモデルチェンジを 破局回避に構造改革と育児支援が最大の課題《岩淵勝好》
97-025	人口高齢化の意味するもの《八代尚宏》
97-026	人口減少社会の悲劇を食い止めるには《高山憲之》
97-027	2010年:高齢者の雇用はどうなるか《清家篤》
97-044	出産と子育てに敬意と感謝を注ぐ仕組みづくりが急務《高山憲之》
97-045	子育てのインフラ整備と、子どもに豊かな人間関係を《渡辺秀樹》
97-048	少子・高齢社会の総合福祉対策の課題—スウェーデン・モデルを超えて—《丸尾直美》
97-052	少子化時代の日本経済《大淵寛》
97-075	少子化対策は年金負担を軽減するか《麻生良文》
97-084	人口からみた高齢社会《嵯峨座晴夫》
97-085	高齢化社会を見る眼《江見康一》
97-089	少子化時代の画工と地域—都市学校政策の動向と課題—《葉養正明》
97-091	少子化会のゆくえ《大淵寛》
97-095	「子どもが輝くまち東京プラン」の取り組み《加藤哲夫》
97-123	少子・高齢化をめぐる諸問題(2) 高齢障害者介護サービスの供給と負担《塩澤修平》
97-124	少子高齢化をめぐる諸問題(3)《塩澤修平》
98-001	少子化抑止に向けた施策対応の方向性《木原眞一》
98-023	岐阜を考える 特集:いま、なぜ少子化を考えるのか《岐阜県産業経済研究センター編》
98-027	少子化時代の子どもの現状・そして未来《池田桂子》
98-028	少子化と高齢者介護—飛騨におけるフィールドワークから《田原裕子》
98-029	少子化と年金財政《木村陽子》
98-034	非婚・少子化で何が悪い《森永卓郎》
98-044	少子高齢社会の経済と社会保障《大淵寛》
98-046	厚生白書 平成10年版 少子社会を考える—子どもを産み育てることに「夢」を持てる社会を—《厚生省》
98-052	出生動向の経済学的解釈とその実証分析《加藤久和》
98-058	少子・高齢化時代の子育て支援に関わる基本的視点などについて《子ども未来財団》
98-069	出生率は上昇するか《岡崎陽一》
98-074	少子化・高齢化の経済効果と経済から人口動態への影響《総合研究開発機構》
98-087	人口減少社会、未来への責任と選択 少子化をめぐる議論と人口問題審議会報告書《人口問題審議会編》
98-088	少子化に関する基本的考え方について—人口減少社会、未来への責任と選択— 人口問題審議会報告書 平成9年10月(第1部)《[人口問題審議会]》
98-092	人口減少は地域に何をもちたすか《西藤冲》
98-099	出生力低下:誰の問題か?《上野千鶴子》
98-101	討論(特集I:第2回厚生政策セミナー「少子化時代を考える」)《阿藤誠, 他》
98-114	人口高齢化と世代間扶養《嵯峨座晴夫》
98-127	都市生活に関する世論調査《東京都政策報道室都民の声部調査広聴課編》
98-128	日本人口の状況と問題《岡崎陽一》
98-132	人口の年齢構成変化が健康ならびに医療支出に与える影響—一つのシミュレーション分析《中西悟志, 他》
98-144	少子高齢化と日本経済《武藤博道, 他》
98-146	年金白書 21世紀の年金を「選択」する 平成9年度版《厚生省年金局監修》
98-147	高齢化・少子化のインパクト《小塩隆士》
99-003	保育所サービスと育児休業制度が出産に与える影響《滋野由紀子, 他》
99-033	少子化対策は年金負担を軽減するか《麻生良文》

文献番号	標 題《著・編者》
99-042	出産の医療化 新生児医療の現状と課題《井上ひとみ》
99-054	保育政策が出産の意思決定と就業に与える影響《滋野由紀子, 他》
99-058	年金財政の将来予測《高山憲之, 他》
99-059	長期的な労働力人口予測と移民・外国人労働者政策の展望《井口泰》
99-086	人口高齢化の要因《嵯峨座晴夫》
99-087	国民生活選好度調査 平成10年度 生活のなかのゆとりと安心—老後、住宅、子ども《経済企画庁国民生活局》
99-106	少子高齢化の医療経営に与える影響《最勝寺憂佳》
99-115	少子・高齢化による価格変化と新しい生活スタイル [第3章 変わる生活, 変わるビジネス]《池本美香》
99-116	少子・高齢化の経済学 市場重視の構造改革《八代尚宏》
99-117	少子化と社会法の課題《高藤昭編著》
99-118	世界的な人口変動とわが国の少子化問題《井口泰》
99-119	少子化の社会保障に及ぼす影響《高藤昭》
99-120	少子化と年金制度《高藤昭》
99-132	少子化に関する世論調査《(総理府)内閣総理大臣官房広報室》
99-144	少子社会を考える《東京都職員研修所》
99-145	少子社会の悪循環 (少子社会と子どもの発達①)《依田明》
99-146	マニュアル人間が増えている (少子社会と子どもの発達②)《依田明》
99-147	ひよわな子どもが増えている《依田明》
99-148	期待につぶされる子ども (少子社会と子どもの発達④)《依田明》
99-149	希薄化するきょうだい関係 (少子社会と子どもの発達⑤)《依田明》
99-150	男の子は結婚できないかも (少子社会と子どもの発達⑥)《依田明》
99-151	親になれない親 (少子社会と子どもの発達⑦)《依田明》
99-152	まず、おとな (少子社会と子どもの発達⑧)《依田明》
99-153	開かれた学校づくり (少子社会と子どもの発達⑨)《依田明》
99-176	少子化の現象の認識と予想される事態《山口三十四》
99-187	少子化・高齢化と公的年金が資本蓄積にもたらす影響《平原良一》
99-188	少子・高齢化の進展
99-194	新アプローチによる出生率推計と年金制度へのインパクト《小川直宏, 他》
99-221	少子化問題と今後の課題《菱沼誠一》
99-222	少子高齢化社会と福祉改革(I)《永峰幸三郎》
99-223	労働力需給の展望と課題—人々の意欲と能力が活かされる社会の実現をめざして—(雇用政策研究会報告の取りまとめについて)[附:雇用政策研究会報告「労働力需給の展望と課題」] 労働省発表平成11年5月25日《[労働省]職業安定局雇用政策課》
Y00-002	人口減少下の経済の姿《井堀利宏, 他》
Y00-010	人口減少社会へのキーワード《藤正巖, 他》
Y00-012	日本の将来の社会構造はどう変わるか
Y00-015	世界最初の人口減少社会・日本の将来
Y00-016	貯蓄はどうなるのか
Y00-021	人口減少・少子高齢化, 循環型経済社会に関する共同研究プロジェクト—21世紀の経済社会システム共同研究プロジェクトの始まりにあたって—《佐藤正一》
Y00-024	少子・未婚社会の親子—現代における「大人になること」の意味と形の変化—《宮本みち子》
Y00-026	高齢化少子社会の産業連関と医療・福祉—その社会経済効果の評価と位置づけ《宮沢健一》
Y00-027	過疎化のシステム・ダイナミック・モデルの構築とその展開《原俊彦, 他》
Y00-043	21世紀の日本を考える 少子高齢化社会の諸相《阿藤誠》
Y00-044	近代家族の曲がり角《落合恵美子》
Y00-047	少子化問題に関する一考察(1)《大淵寛》
Y00-049	少子化問題に関する一考察(2)《大淵寛》
Y00-051	少子化世代は損か得か《樋口美雄》
Y00-085	低出生率と高齢化の下での日本経済と社会保障—シミュレーション分析—《藤川清史》
Y00-086	出生率の低下と公共政策《宮島洋》
Y00-090	現代人口学 少子高齢化社会の基礎知識《阿藤誠》
Y00-095	少子化に関する家族・労働政策の影響と少子化の見通しに関する研究《新谷由里子》
Y00-098	人口高齢化の要因《総務庁》
Y00-099	人口高齢化の要因《[内閣府]》
Y00-102	少子高齢化社会の医療と社会保障
Y00-103	少子高齢化社会における社会保障 とくに連帯と自己責任について《医療政策会議》
Y00-108	国民生活・経済に関する調査報告 平成12年5月《参議院国民生活・経済に関する調査会》
Y00-130	少子高齢化社会の社会保障制度のあり方—公私ミックス下の自己責任と社会責任のバランス—《宮澤健一》
Y00-135	人口構成の変化とエイジレス《増田雅暢》

文献番号	標 題《著・編者》
Y00-136	少子高齢社会と社会保障(2) 市町村の高齢化と社会保障《増田雅暢》
Y00-137	将来人口推計と社会保障《増田雅暢》
Y00-138	少子高齢社会と社会保障(6) 国民皆保険・皆年金体制の行方《増田雅暢》
Y00-139	少子高齢社会と社会保障(7) 年金制度の将来について《増田雅暢》
Y00-173	少子化と社会保険《府川哲夫》
Y00-177	少子高齢化の進展と今後のわが国経済社会の展望《大蔵省財務総合政策研究所》
Y00-185	第1章 少子・高齢化と日本の経済社会の行方:問題意識と各章の要約《清家篤》
Y00-186	第2章 少子高齢化社会の経済運営—歴史的、国際的視点からの評価—《北村行伸》
Y00-187	第3章 経済の構造変化と家族・雇用《清家篤》
Y00-188	第4章 少子・高齢化が消費動向に及ぼす影響《武藤博道,他》
Y00-189	第5章 少子・高齢化社会と技術革新《西岡幸一》
Y00-192	21世紀少子化社会の要因と社会経済的影響《高橋重郷》
Y00-203	第6章 日本の人口高齢化と生活構造《石南國》
Y00-204	付録 日本の出生力減退と経済成長《石南國》
Y00-206	人口動向とジェンダー:コストと機会《[国連人口基金(UNFPA)]》
Y00-241	少子化と社会保障《兼清弘之》
Y00-250	少子・高齢化と雇用問題《清正寛》
Y00-268	世代間援助・協力関係構造《黒田俊夫》
Y00-269	日本の世帯数の将来推計 全国推計/都道府県別推計—1995(平成7)年~2020(平成32)年— 全国推計[1998(平成10)年10月推計] 都道府県別推計[2000(平成12)年3月推計]《厚生省人口問題研究所編》
Y00-270	少子化の加速と社会保障
Y00-271	少子化と女性の就労と社会保障制度《前田正子》
Y00-272	未婚化現象の本格化と年金制度《小川直宏》
Y00-273	年金をめぐる独身者問題—ライフスタイルの多様化と年金制度—《椋野美智子》
Y00-274	公的年金制度における拠出と給付の単位—学生と主婦の立場—《真屋尚生》
Y00-275	独身者と公的年金(特集 年金をめぐる独身者問題)《牛丸聡》
Y00-276	少子高齢化で成長が期待される新たな“リフォーム産業”《末吉正浩》
Y00-280	女性と年金《高山憲之》
Y00-282	少子化高齢化社会の福祉《兼清弘之》
Y00-300	少子化と子どもの発達—発達心理学の視点からのいくつかの覚え書き—《三島正英》
Y00-301	99年年金制度改正の国家論議 少子高齢化の進展と公的年金制度の行方《佐伯道子》
Y00-302	雇用と働き方の再構築:労働力人口減少の制約の下で《前野鏡彦》
Y01-011	少子高齢化と働き手《高橋重郷》
Y01-014	少子高齢化社会の需要動向《島村史郎》
Y01-017	国際的な人の移動の動向と展望—地域統合、少子・高齢化と日本の選択—《井口泰》
Y01-034	育児支援・年金改革と出生率《小塩隆士》
Y01-037	超高齢・人口急減社会の到来と少子化のゆくえ《阿藤誠》
Y01-051	少子化に関する家族・労働政策の影響と少子化の見通しに関する研究《新谷由里子》
Y01-080	男女共同参画社会と「女性の権利」《辻村みよ子》
Y01-081	男女共同参画社会の法と制度—日本学術会議公法研究連絡委員会・石川県・金沢大学主催シンポジウムをめぐって《辻村みよ子》
Y01-120	人口減少社会では、一人ひとりがもっと大事にされる《原田泰》
Y01-121	人口減少で生産性が上昇し、日本経済は発展する《原田泰》
Y01-126	人口減少社会の到来で高齢者の生活はどうなる《原田泰》
Y01-127	日本の少子高齢化 柔軟な人生設計に向けて《岩澤美帆》
Y01-133	未来は人口統計のなかにある《ウォーレス, P.》
Y01-134	全世界高齢化はこうして起きる《ウォーレス, P.》
Y01-135	不動産の新しいルール《ウォーレス, P.》
Y01-149	大都市圏における少子化—その背景と対策—《少子化が地域社会に及ぼす影響に関する研究会》
Y01-153	女性と年金制度(第3号被保険者制度についての議論を中心に)
Y01-167	「少子高齢化の中での地域振興」《長岡昇》
Y01-168	「少子化と日本人の行方」—人口減少社会を考える—《阿藤誠》
Y01-175	環境・少子高齢化社会に向けた都市計画制度の再構築—省庁再編をトリガーに—《家田仁》
Y01-176	少子高齢化人口減少社会が都市内公共交通機関に与える定量的影響評論《円山琢也,他》
Y01-180	少子高齢化時代の家族と地域社会《清水浩昭》
Y01-183	経済と人口の創発的モデル—カオスと企業家精神の視点から《山崎匡毅》
Y01-190	女性の年金《安藤幸子》
Y01-191	女性の年金—過去・現在・未来《千保喜久夫》
Y01-192	年金制度の財政問題:人口構造から見た《阿崎陽一》

文献番号	標 題《著・編者》
Y01-193	年金制度と「少子高齢化」問題 《林幸雄》
Y01-194	コンドラチェフ波動と年金制度 《安宅川佳之》
Y01-199	日本の保育所政策の現状と課題－経済学的分析－ 《山重慎二》
Y01-202	「少子高齢化の進展と今後のわが国経済社会の展望」研究報告書について 《初岡道大》
Y01-233	少子高齢化と技術進歩 《片岡孝夫》
	少子化の影響に対する対応(技術革新・外国人受け入れ・高齢者・女性の活用・社会保障など)
95-054	低出生力・労働時間短縮と労働供給 《水野朝夫, 他》
95-055	外国人労働力導入の功罪－労働市場に及ぼす経済的効果の計量的分析－ 《吉田良生》
96-021	厚生白書 平成8年版 家族と社会保障－家族の社会的支援のために。《厚生省》
97-005	高齢化・少子化社会と住宅・社会資本整備報告書 《建設省建設政策研究センター》
97-008	少子・高齢社会における社会保障 《高山憲之》
97-011	少子高齢対策委員会提言 活力ある少子高齢社会を迎えるために－多様な選択が可能な柔構造社会へ－ 《関西経済連合会少子高齢対策委員会》
97-014	人口政策と社会保障政策 《大淵寛》
97-015	挨拶 ([第1回厚生政策セミナー テーマ 福祉国家の再構築－少子・高齢化社会の社会保障はどうあるべきか－]) 《塩野谷祐一》
97-019	わが国の社会保障改革－医療・年金・介護の改革の問題点 《宮島洋》
97-020	討論(司会) ([第1回厚生政策セミナー テーマ 福祉国家の再構築－少子・高齢化社会の社会保障はどうあるべきか－]) 《塩野谷祐一》
97-036	少子化問題のポイント 《阿藤誠》
97-048	少子・高齢社会の総合福祉対策の課題－スウェーデン・モデルを超えて－ 《丸尾直美》
97-049	少子高齢化社会における健保組合の役割－「日本的土壌」からの脱却の必要性 《勝又幸子》
97-052	少子化時代の日本経済 《大淵寛》
97-053	少子化に関する基本的考え方について－人口減少社会、未来への責任と選択－ 《人口問題審議会》
97-077	「少子化」に関するわが国の研究動向と政策的研究課題 《阿藤誠》
97-086	高齢社会と人口政策 《岡崎陽一》
97-087	高齢社会への対応－民間の立場から－ 《島村史郎》
97-088	人口高齢化と高齢社会対策 《大林千一》
97-099	少子化社会の展望 《小池麒一郎》
98-046	厚生白書 平成10年版 少子社会を考える－子どもを産み育てることに「夢」を持てる社会を－ 《厚生省》
98-050	高齢社会における社会保障体制の再構築に関する理論研究事業の調査研究委員報告書Ⅱ 《高齢社会における社会保障体制の再構築に関する理論研究事業の調査研究委員》
98-075	少子化と人口減少社会を考える 人口問題審議会報告書のポイント(少子化に関する基本的考え方について－人口減少社会、未来への責任と選択－) 《厚生省大臣官房政策課監修》
98-077	少子亡国論 低出生率社会をどう乗り切るか 《山本肇》
98-087	人口減少社会、未来への責任と選択 少子化をめぐる議論と人口問題審議会報告書 《人口問題審議会編》
98-088	少子化に関する基本的考え方について－人口減少社会、未来への責任と選択－ 人口問題審議会報告書 平成9年10月(第1部) 《[人口問題審議会]》
98-091	高齢世代から子育て世代へ社会保障の比重を移す 《宮島洋》
98-114	人口高齢化と世代間扶養 《嵯峨座晴夫》
98-128	日本人口の状況と問題 《岡崎陽一》
98-129	2025年の社会に向けた家族政策 《都村敦子》
98-146	年金白書 21世紀の年金を「選択」する 平成9年度版 《厚生省年金局監修》
98-147	高齢化・少子化のインパクト 《小塩隆士》
98-172	見つめてみよう! わたしたちの少子・高齢化社会 《横浜市企画局少子・高齢化社会対策室編》
99-002	「複線型人生」のすすめ 少子・高齢化社会への提言 《経済同友会》
99-087	国民生活選好度調査 平成10年度 生活のなかのゆとりと安心－老後、住宅、子ども 《経済企画庁国民生活局》
99-088	国民生活・経済に関する調査報告－少子化への対応と生涯能力発揮社会の形成－ 平成11年8月 《参議院国民生活・経済に関する調査会》
99-089	少子高齢社会における雇用のあり方について 《岡朋史》
99-111	家族の変化と少子化と住宅需要 《大沢真知子》
99-112	少子化と住宅市場 《福井秀夫》
99-113	少子化社会と住宅のあり方 《大江守之》
99-117	少子化と社会法の課題 《高藤昭編著》
99-128	少子化と住宅市場 《福井秀夫》
99-129	少子化と医療保険 《藤野美都子》
99-144	少子社会を考える 《東京都職員研修所》
99-172	人口減少社会と地球環境 《鬼頭宏》
Y00-003	人口減少社会で豊かな生活を実現するために 《中村洋一》
Y00-005	年齢から自由な労働市場に 《清家篤》
Y00-006	少子・高齢化に関する施策の動向－「個」から「共」へ 《池本美香》

文献番号	標 題《著・編者》
Y00-007	超少子高齢社会と介護保険《岩淵勝好》
Y00-008	少子化対策の国際比較－社会保障先進国の経験とその評価について《増淵勝彦》
Y00-010	人口減少社会へのキーワード《藤正巖, 他》
Y00-017	「尊敬される国」への選択
Y00-100	二一世紀の外国人政策－人口減少時代の日本の選択と出入国管理（特別寄稿）《坂中英徳》
Y00-108	国民生活・経済に関する調査報告 平成12年6月《参議院国民生活・経済に関する調査会》
Y00-140	少子高齢社会と社会保障(終) 社会保障の総合調整《増田雅暢》
Y00-173	少子化と社会保障《府川哲夫》
Y00-176	少子高齢化に対応した新たな成長戦略の確立に向けて－今後の四半世紀における日本経済の展望と課題－《経済団体連合会》
Y00-177	少子高齢化の進展と今後のわが国経済社会の展望《大蔵省財務総合政策研究所》
Y00-181	日本人口の二十一世紀《鬼頭宏》
Y00-183	人口をめぐる政治と倫理－「人口政策」論再考－《佐藤龍三郎》
Y00-184	少子化を是正すべきか－歴史人口の立場から－《鬼頭宏》
Y00-187	第3章 経済の構造変化と家族・雇用《清家篤》
Y00-189	第5章 少子・高齢化社会と技術革新《西岡幸一》
Y00-208	補充移民《河野稠果》
Y00-215	法務省が介護に外国人労働者検討 移民受入は人口減少対策の邪道《岩淵勝好》
Y00-227	移民導入の時代が来たのか《河野稠果》
Y00-235	21世紀に向けての社会保障 社会保障構造の在り方を考える有識者会議報告《社会保障構造のあり方を考える有識者会議報告》
Y00-299	補充移民と少子化《阿藤誠》
Y01-017	国際的な人の移動の動向と展望－地域統合、少子・高齢化と日本の選択－《井口泰》
Y01-034	育児支援・年金改革と出生率《小塩隆士》
Y01-040	外国人保育の課題と展望－わが国における行政の対応状況と保育所での受け入れ－（子ども・家庭・地域）《網野武》
Y01-055	人口減少と外国人労働者の受入問題(上)《鬼頭宏》
Y01-056	人口減少と外国人労働者の受入れ問題(下)《鬼頭宏》
Y01-120	人口減少社会では、一人ひとりをもっと大事にされる《原田泰》
Y01-122	保育所コストの引き下げが急がれる《原田泰》
Y01-125	年金改革で高齢社会のコストを下げる《原田泰》
Y01-134	全世界高齢化はこうして起きる《ウォーレス, P.》
Y01-169	「人口減少社会への対応」《住川雅洋》
Y01-179	少子・高齢化時代の雇用・労働市場と政策課題《井口泰》
Y01-218	社会保障改革と将来の子育て支援《京極高宣》
少子化の要因への対応	
90-003	出生促進政策の有効性《小島宏》
95-040	日本の人口政策について《岡崎陽一》
98-008	「子育て不安」と家族と企業と（研究の窓）《宮澤健一》
98-031	少子化の背景と少子化への対応《阿藤誠》
98-127	都市生活に関する世論調査《東京都政策報道室都民の声部調査広聴課編》
98-145	人口問題について《伊部英男》
99-055	少子高齢社会と児童福祉改革《山崎泰彦》
99-061	少子化への対応を進めるために《高倉信行》
99-066	少子化対策臨時特例交付金の創設《[厚生省]児童家庭局企画課》
99-068	子育て支援策の効果に関する研究《浅子和美》
99-103	児童手当の拡充と世代間交流 少子化対策からみた問題と可能性《池本美香》
99-107	第3章 福祉サービス供給システムとしての措置(委託)制度の研究－保育所制度の改等を素材として－《福田素生》
99-169	男女共同参画の現状と施策－男女共同参画2000年プランに関する報告書(第3回)－《(総理府)内閣総理大臣官房》
99-183	逆人口ピラミッドへの対応を急げ－少子化・高齢化論の混乱－（随想）《黒田俊夫》
Y00-001	少子高齢化の本質は何か（提言）《塩野谷祐一》
Y00-004	男性の働き方を変えよう《高山憲之》
Y00-079	子どもの誕生と社会保障－個人的資源の増減をめぐって－《大久保孝治》
Y00-084	育児休業制度の実証分析《樋口美雄》
Y00-087	家族政策の歴史的展開－育児に対する政策対応の変遷－《下夷美幸》
Y00-088	政党の家族政策と児童手当制度《小島晴洋》
Y00-089	子育て家庭支援施策の展望《柏女霊峰》
Y00-104	実効ある少子化対策への提言《少子化対策委員会》
Y00-115	男女共同参画社会と子ども家庭福祉《佐藤洋子》
Y00-116	親の働き方と子ども家庭福祉《武石恵美子》

文献番号	標 題 《著・編者》
Y00-131	少子化社会対策基本法案について 《袖井孝子》
Y00-165	調査から導かれた政策的な提言の要約 《下田平裕身, 他》
Y00-174	雇用システムと少子化問題－効果的なポリシー・ミックスのために－ 《井口泰》
Y00-190	第6章 少子高齢化時代における人口政策の可能性 《小島宏》
Y00-213	人口政策 《河野綱果》
Y00-216	少子化論議で抜け落ちているもの 子育て支援への企業と地域の意識 《山路憲夫》
Y00-217	男女共同参画、はじめの一步を家庭から 家庭教育事業推進のための理論と実践 《国立婦人教育会館編》
Y00-251	職業生活と家庭生活との両立をめぐる課題 《清正寛》
Y00-278	共働き家庭の保育ニーズの中に少子化歯止めの鍵が潜む 少子化の要因への対応(国内):エンゼルプラン・育児環境・職場環境・など
90-010	保育年報 1990 新保育所保育指針と90年代の保育 《全国保育協議会編》
91-013	人口問題に関する国民の意識構造の分析－「人口問題に関する意識調査」の結果から－ 《阿藤誠, 他》
91-019	人口問題に関する意識調査報告 平成2年度. 《阿藤誠, 他》
95-003	女性の就業と支援システム 《前田信彦》
95-013	エンゼルプラン 今後の子育て支援のための施策の基本的方向について 《厚生省児童家庭局》
95-032	「子どもは公共財」という認識が必要 子育ての経済要因からみた出生率見通し 《八代尚宏》
95-035	晩婚夫婦への対応がポイント－「子育てに対する社会的支援に関する調査」結果から－ 《白紙利恵, 他》
95-036	産み・育てやすい環境づくりを－「子育てに対する社会的支援に関する調査」結果から(続)－ 《白紙利恵, 他》
96-002	低出生率と公共対策 (第8回研究講座講演より) (特集 少子・高齢社会を考える[資料]) 《宮島洋》
96-008	地方版「エンゼルプラン」(保育計画)の展開とその問題 《桜井慶一》
96-009	人口の高齢化と地域福祉政策－在宅福祉サービスの実証分析－ 《塚原康博》
96-010	保育需要の経済分析 《駒村康平》
96-013	少子化とエンゼルプランについて 《佐々木裕介》
96-014	これからの保育対策 《西野孝》
96-020	今後の子育ての支援の方向性 《高野陽》
96-021	厚生白書 平成8年版 家族と社会保障－家族の社会的支援のために. 《厚生省》
96-024	子ども家庭施策の動向 児童福祉法改正に向けて 《日本総合愛育研究所子ども家庭サービス教育・研究ネットワーク
96-025	子育て支援概念と保育所保育の方法技術－「措置保育」から「子育て支援保育」への転換－ 《野澤正子》
96-031	人口問題に関する国民の意識構造の分析－「第3回人口問題に関する意識調査」の結果から－ 《金子武治, 他》
96-039	子育て支援体制検討特別委員会(平成7年度) 育児に関するアンケート調査結果報告書(第一報) 《広島県地域保健 対策協議会子育て支援体制研究特別委員会》
96-047	少子化対策について 《真鍋伸子》
97-002	少子化－少子化は回復するか 《小林朋野》
97-008	少子・高齢社会における社会保障 《高山憲之》
97-011	少子高齢対策委員会提言 活力ある少子高齢社会を迎えるために－多様な選択が可能な柔構造社会へ－ 《関西 経済連合会少子高齢対策委員会》
97-014	人口政策と社会保障政策 《大淵寛》
97-015	挨拶 ([第1回厚生政策セミナー テーマ 福祉国家の再構築－少子・高齢化社会の社会保障はどうあるべきか－]) 《塩野谷祐一》
97-019	わが国の社会保障改革－医療・年金・介護の改革の問題点 《宮島洋》
97-020	討論(司会) ([第1回厚生政策セミナー テーマ 福祉国家の再構築－少子・高齢化社会の社会保障はどうあるべきか －]) 《塩野谷祐一》
97-021	人口減少時代に向けて社会のモデルチェンジを 破局回避に構造改革と育児支援が最大の課題 《岩淵勝好》
97-026	人口減少社会の悲劇を食い止めるには 《高山憲之》
97-044	出産と子育てに敬意と感謝を注ぐ仕組みづくりが急務 《高山憲之》
97-051	社会保障法制概論 少子・高齢・国際化時代を視座に. 《高藤昭著》
97-053	少子化に関する基本的考え方について－人口減少社会、未来への責任と選択－ 《人口問題審議会》
97-056	「少子社会を考える国民会議」報告書－人口減少時代、私たちが迎える21世紀への課題－ 《厚生省主催》
97-060	就業選択の多様化と労働力率の動向 《金子能宏》
97-062	少子化問題対策は日本の国家百年の計 《熊代昭彦》
97-066	人口変動と家族 《阿藤誠, 他》
97-071	少子化と子育て支援政策の支持－第2回人口問題意識調査のモデル分析－ 《岩間暁子》
97-075	少子化対策は年金負担を軽減するか 《麻生良文》
97-076	日米英における育児休業・出産休業と女性就業 《樋口美雄, 他》
97-077	「少子化」に関するわが国の研究動向と政策的研究課題 《阿藤誠》
97-086	高齢社会と人口政策 《岡崎陽一》
97-091	少子化会のゆくえ 《大淵寛》
97-093	出産・育児を支援する社会づくり 《船橋恵子》
97-094	少子化時代の学校教育 《上杉孝實》
97-095	「子どもが輝くまち東京プラン」の取り組み 《加藤哲夫》

文献番号	標 題《著・編者》
97-103	人口問題と社会保障—少子化と家族政策の役割— 《阿藤誠》
97-122	少子化と社会保障に関する一考察—子育てにおける家族の自助原則と社会保障をめぐって— 《永山くに子》
98-001	少子化抑止に向けた施策対応の方向性 《木原眞一》
98-005	乳幼児の育児の実態と母親の育児意識 その2 10年間の変化にみる育児の諸問題と育児支援のあり方 《伊藤わら
98-007	少子化の原因と価値観 《鈴木りえこ》
98-009	児童福祉法改正の評価と課題—児童家庭福祉の理念および公的責任— 《網野武博》
98-010	保育の多様化 《前田正子》
98-011	児童福祉と財政政策 《林宜嗣》
98-012	放課後児童対策のあり方—放課後児童健全育成事業の法制化をめぐって— 《西郷泰之》
98-013	児童福祉法改正と要保護児童福祉施策 《新保幸男》
98-014	児童福祉法改正と児童家庭福祉—「理念」、「制度」、「方法」の統合をめざして— 《柏女靈峰》
98-015	社会福祉サービスの展開と今後の方向—ある自治体の経験を踏まえて— 《城戸喜子》
98-016	厚生年金の保険料負担問題 《高山憲之》
98-017	厚生年金財政の将来とスライド制 《八代尚宏, 他》
98-018	租税構造における年金課税の意義と効果 《井堀利宏》
98-019	年金改革と世代間再分配 《八田達夫, 他》
98-020	日本の年金改革—「国民共通の基礎年金」と「基礎年金を超える年金の民営化」— 《田近栄治》
98-021	保育所の利用者負担徴収方法と女性の就労選択 《丸山桂》
98-023	岐阜を考える 特集:いま、なぜ少子化を考えるのか 《岐阜県産業経済研究センター編》
98-030	少子化と政策的視点 《椋野美智子》
98-036	子供のコストと少子化対策 《大石亜希子》
98-039	保育政策が出産の意志決定と就業に与える影響 《大日康史》
98-046	厚生白書 平成10年版 少子社会を考える—子どもを産み育てることに「夢」を持てる社会を— 《厚生省》
98-047	地域の子育て支援 《[厚生省大臣官房政策課調査室]》
98-048	職場 (多様な生き方と調和する職場や学校 第1節) 《[厚生省大臣官房政策課調査室]》
98-049	子どもを産み育てることに「夢」を持てる社会を 《[厚生省大臣官房政策課調査室]》
98-050	高齢社会における社会保障体制の再構築に関する理論研究事業の調査研究委員報告書Ⅱ 《高齢社会における社会 保障体制の再構築に関する理論研究事業の調査研究委員》
98-058	少子・高齢化時代の子育て支援に関わる基本的視点などについて 《子ども未来財団》
98-059	子育ての具体的場面ごとに、施策の方向性について 《子ども未来財団》
98-072	人口問題—少子化と政策的展望— 《阿藤誠》
98-075	少子化と人口減少社会を考える 人口問題審議会報告書のポイント(少子化に関する基本的考え方について—人口減 少社会、未来への責任と選択—) 《厚生省大臣官房政策課監修》
98-077	少子亡国論 低出生率社会をどう乗り切るか 《山本肇》
98-078	子育て支援策の効果に関する研究1 《浅子和美, 他》
98-087	人口減少社会、未来への責任と選択 少子化をめぐる議論と人口問題審議会報告書 《人口問題審議会編》
98-093	出産・育児の社会化を進める 《山崎泰彦》
98-096	問題提起:少子化の背景と政策的対応 《阿藤誠》
98-099	出生力低下:誰の問題か? 《上野千鶴子》
98-100	少子化の経済的要因とその対応 《八代尚宏》
98-101	討論 (特集Ⅰ:第2回厚生政策セミナー「少子化時代を考える」) 《阿藤誠, 他》
98-103	少子化現象のジェンダー論—性役割分業社会とリプロダクティブ・ライツ— 《目黒依子》
98-122	集合住宅における子育て支援—事例と類型からの考察— 《山本理》
98-128	日本人口の状況と問題 《岡崎陽一》
98-129	2026年の社会に向けた家族政策 《都村敦子》
98-134	育児支援のあり方に関する研究—低年齢児保育等と母児の健康— 《加藤忠明, 他》
98-138	職業生活と家庭生活の調和—労働法の視点から 《両角道代》
98-139	仕事と家庭にかかわる社会保障政策の課題 《丸尾直美》
98-163	保育年報 1998—1999 新しい時代の保育所の役割—児童福祉法の改正をふまえて— 《全国保育協議会編》
98-165	現代社会における子育て観の揺らぎ 《林浩康》
98-172	見つめてみよう! わたしたちの少子・高齢化社会 《横浜市企画局少子・高齢化社会対策室編》
98-175	夢ある家庭づくりや子育てができる社会を築くために 《少子化への対応を考える有識者会議》
99-001	少子化と価値観をめぐる一考察 《鈴木りえこ》
99-007	育児休業利用に関する企業・事業所の違い 《脇坂明》
99-008	少子化と子育て・就業支援事業の効果の検証 《吉田浩》
99-036	日米英における企業の育児支援と女性就業 《樋口美雄, 他》
99-038	育児休業や育児支援制度の出生行動に及ぼす影響について 《駿河輝和》
99-039	国際比較に見る保育・就業支援制度と出生行動 《小島宏》
99-040	自治体による保育・就業支援制度と出生行動 《岸智子》

文献番号	標 題《著・編者》
99-041	少子化現象のジェンダー論－性役割分業社会とプロダクティブ・ライズー 《目黒依子》
99-046	出生力低下と子育て支援政策 《津谷典子》
99-047	少子化問題の社会的構成と家族政策 《渋谷敦司》
99-051	保育における規制緩和と民営化 《横山由紀子》
99-054	保育政策が出産の意思決定と就業に与える影響 《滋野由紀子, 他》
99-064	提言の特徴と今後への期待 (特集 少子化への対応を考える有識者会議 寄稿) 《岩男壽美子》
99-065	問題提起: 少子化の背景と政策的対応 《八代尚宏》
99-071	少子化に対する企業および労働組合の意識と対応に関する調査研究 《鈴木不二一, 他》
99-072	我が国の保育制度 《山本真実》
99-073	諸外国の保育制度 3. ドイツ～ (1) 政策・現状を中心に 《春見静子》
99-074	今後の我が国における保育政策の方向性について 《山本真実, 他》
99-078	少子化対策に関する国際比較研究 《伊部英男, 他》
99-079	少子化に対する企業及び労働組合の対応に関する研究 少子社会における勤労者の家族観について 《山中中和》
99-088	国民生活・経済に関する調査報告－少子化への対応と生涯能力発揮社会の形成－ 平成11年8月 《参議院国民生活・経済に関する調査会》
99-095	子育て支援ネットワークの役割と課題 個々の子育て支援活動をより充実させるにはネットワークの多面的な展開が望まれる 《松原康雄》
99-096	現代の日本の親子関係と結婚促進へのシナリオを語る 《宮本みち子, 他》
99-097	男たちの意識改革が非婚に歯止めをかける 《門脇厚司》
99-098	少子化対策は保育所の拡充と柔軟な雇用管理で: 男女の非婚・晩婚化は企業風土が原因か 《福岡道生》
99-099	地域に根ざした子育て支援事業で理想のイメージに着々と近づく 札幌市 (エンゼルプラン西東) 《札幌市》
99-110	少子化と女性と住まい－ピーコンヒル能見台における女性支援の試み－ 《小林義和, 他》
99-117	少子化と社会法の課題 《高藤昭編著》
99-122	育児支援の法的課題 《中野育男》
99-123	家族手当の法的性格 《山本圭子》
99-124	少子化と社会福祉関係法 《大山博》
99-125	少子化と労使関係－不就労期間と賃金 《山本吉人》
99-126	少子化に対する立法的対応の可能性 《中野育男》
99-127	少子化と財政・社会保障 《木村陽子》
99-132	少子化に関する世論調査 《(総理府)内閣総理大臣官房広報室》
99-144	少子社会を考える 《東京都職員研修所》
99-175	中小企業の子育て支援に関する報告書(概要版) 《こども未来財団》
99-181	首都圏(東京・多摩ニュータウン)における子育て支援 《後藤憲子, 高岡純子》
99-186	”子育てしやすい都市”はどこか 都市部で急増する”保育難民” 『地域経済総覧2000年版』編集部》
99-192	子ども家庭福祉施策の評価に関する考察(2) 「子育ての社会的支援に関する意識調査」の結果から(1) 《山本真
99-196	家族政策の国際比較 《都村敦子》
99-197	西欧諸国における家族政策－育児支援対策の視点から－ 《白波瀬佐和子》
99-198	連帯社会の税財政システム－少子化対策の前提－ 《金澤史男》
99-203	保育所の現状と保護者の意識について 《岡本善之》
99-209	結婚や子育てに夢がふくらむ環境づくりをめざして－おかやまいきき子どもプラン－ (地方版エンゼルプラン) 《三
99-210	「少子化」「子育て」を考える① 《長田浩志》
99-211	「少子化」「子育て」を考える② 《長田浩志》
99-212	子育て支援都市”さっぽろ”の実現に向けて 札幌市における子育て支援計画 (地方版エンゼルプラン) 《奥岡文
99-214	保育サービス供給の実証分析研究 報告書 平成11年3月 《母子愛育会》
99-215	保育制度の課題
99-216	保育をめぐる各地の動向 (IV)
99-217	保育所利用者のニーズに関する調査研究報告書 《日本保育協会》
99-219	育児支援をめぐる世代間関係－妻の就業類型を手がかりとして－ 《小野寺理佳》
99-221	少子化問題と今後の課題 《菱沼誠一》
Y00-018	スウェーデンはモデルになりうるか 《岡崎陽一, 他》
Y00-019	ライフサイクルからみた少子高齢社会の問題 《岡崎陽一》
Y00-041	保育サービスの供給について－費用面からの検討を中心に－ 《福田素生》
Y00-053	特集の視点 (特集 求められる保育サービス 地域の子育て支援の中核をめざす) 《武居敏》
Y00-054	多様化する保育サービスの現状と課題 子育ての社会化に向けて 《網野武博》
Y00-055	アンケートにみる「こんな保育サービスがほしい」 働くお母さんの声から 《『月刊福祉』編集部》
Y00-056	福祉制度改革で、保育サービスは変わったか 《菊池繁信》
Y00-057	福祉制度改革で、保育サービスは変わったか 保育所の可能性としての5つの選択肢 《山縣文治》
Y00-058	改訂・保育所保育指針の意味と課題 《栃尾勲》
Y00-059	21世紀に求められる保育サービス提供システム 良質な保育サービスがもれなく効率的に提供されるために 《福田素

文献番号	標 題《著・編者》
Y00-070	労基法、育児・介護休業法における「休暇」の種類と意義 《西村健一郎》
Y00-071	出産休暇 《中村和夫》
Y00-072	育児・介護休業制度の背景 《菅野淑子》
Y00-073	育児をめぐる制度 《菅野淑子》
Y00-074	家族的責任と労働 《菅野淑子》
Y00-092	少子化対策推進基本方針と新エンゼルプラン 《福島寛志》
Y00-097	配偶者控除の廃止と基礎控除の引き上げ 《渡部尚史》
Y00-105	政府の提言等 《〔参議院第2特別調査室〕》
Y00-106	民間団体の提言等〔平成9年－平成11年〕 《〔参議院第2特別調査室〕》
Y00-108	国民生活・経済に関する調査報告 平成12年7月 《参議院国民生活・経済に関する調査会》
Y00-118	子育ての社会化～今、これから 《森田明美》
Y00-119	兵庫県姫路市（エンゼルプラン西東）《兵庫県姫路市》
Y00-120	エンゼルプラン西東（那覇市）《沖縄県那覇市》
Y00-121	男女がともに利用してこそ生きてくる育児支援策 《武石恵美子》
Y00-122	少子化社会への対応 《八代尚宏》
Y00-124	出生率の低下と行政の役割 《大沢真知子》
Y00-126	児童育児計画（地方版エンゼルプラン）策定実態と今後の課題 《山本真実》
Y00-128	少子化対策推進基本方針と新エンゼルプランの策定 総合的少子化対策の推進 《土生栄二》
Y00-134	少子化と児童手当 《小林迪夫》
Y00-141	少子化対応で支給対象年齢を拡大 児童手当法改正の背景と課題をみる（上）《『週刊社会保障』編集》
Y00-142	千葉県の少子化施策について 《末岡隆則》
Y00-143	少子化対策の基本的考え方（Part 1）《少子化対策研究会》
Y00-144	少子化対策の経緯②（講座 少子化対策の現状と課題⑦）《少子化対策研究会》
Y00-145	保育サービス（講座 少子化対策の現状と課題⑧ 各論（1））《少子化対策研究会》
Y00-146	雇用・労働環境整備 《少子化対策研究会》
Y00-148	母子保健（講座 少子化対策の現状と課題⑩ 各論（4））《少子化対策研究会》
Y00-149	地域サービス（講座 少子化対策の現状と課題 ⑫ 各論（5））《少子化対策研究所》
Y00-150	経済的支援（講座 少子化対策の現状と課題⑬ 各論（6））《少子化対策研究会》
Y00-151	教育施策（講座 少子化対策の現状と課題⑭ 各論（7））《少子化対策研究会》
Y00-152	生活環境整備（講座 少子化対策の現状と課題⑮ 各論（8））《少子化対策研究会》
Y00-153	民間団体等の取組み（講座 少子化対策の現状と課題 16 各論（9））《少子化対策研究会》
Y00-154	少子化対策の今後の展望（講座 少子化対策の現状と課題（終））《少子化対策研究会》
Y00-156	国外で生まれた婚外子の国籍についての母系優先主義の合憲性－Miller v. Albright, 118 S. Ct. 1428 (1998)（憲法訴訟研究会第102回）《毛利透》
Y00-166	「過疎型」農村地域のプロフィール 《宮崎県五ヶ瀬町の事例》《菅沼隆》
Y00-167	農村女性の自立と定住の促進に向けての提言 《吉野英岐, 他》
Y00-168	少子化時代の保育園－いま、何を考えるべきか－ 《前田正子》
Y00-169	日本における少子化問題への新しいアプローチ－望ましいポリシー・ミックス－ 《〔国際長寿センター編〕》
Y00-170	家族政策の国際比較研究 《都村敦子》
Y00-171	育児支援に関する国際比較研究 《白波瀬佐和子》
Y00-172	税財政システムから見た少子化対策 《金澤史男》
Y00-180	少子化時代の保育システム 《椋野美智子》
Y00-214	過疎地域における保育サービスの在り方の総合的検討 《山縣文治》
Y00-223	政府は無策だったのかくろボ 《樺嶋秀吉》
Y00-224	スウェーデン・モデルの失敗－出産・育児支援策の有効性を問う 《古田隆彦》
Y00-225	フレキシブルな選択を認めよ 《加藤充》
Y00-226	少子化時代の企業の役割 《八代尚宏》
Y00-233	男女共同参画社会への道 《鈴木りえこ》
Y00-234	少子化問題 そのアジェンダ化の軌跡－数値の発表と国家の政策－ 《堀江孝司》
Y00-241	少子化と社会保障 《兼清弘之》
Y00-243	少子化と子育て問題 《森田明美》
Y00-248	児童手当法改正の概要 少子化の進行に対応 《厚生省》
Y00-249	21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）について報告書 平成12年2月 《健康日本21企画検討会, 他》
Y00-252	少子化対策に「第3の柱」を 《高山憲之》
Y00-253	地域での育児支援の取り組み－小石川医師会子育て支援セミナー（講習会 平成11年度乳幼児保健講習会 シンポジウム・地域における育児機能の回復を考える 追加発言）《内海裕美》
Y00-264	少子化対策－何が求められているか－ 《阿藤誠》
Y00-277	社会全体で行うのが「育児」 《鈴木理恵子》
Y00-279	「お互い様」と育休取得が当たり前の世の中に 《小林和弘》

文献番号	標 題《著・編者》
Y00-281	働く女性の実情 平成11年版 [婦人労働白書]《労働省女性局》
Y00-285	名古屋市の子育て施策についてー保育施策を中心にー (地方版エンゼルプラン)《宮川正明》
Y00-286	「こども夢プラン21」についてー保育施策を中心にしてー《横山泉》
Y00-287	「少子化」「子育て」を考える⑦《長田浩志》
Y00-288	「少子化」「子育て」を考える⑧《長田浩志》
Y00-289	静岡ならではの「子育て・子育てがしやすい都市」実現にむけて《和田伊都子》
Y00-290	保育年報 2000 いま、認可保育所に問わせていることー保育制度の規制緩和と保育所保育指針の改訂ー《全国保育協議会編》
Y00-291	保育白書 2000年版 特集:現代子育て事情, 小特集:福祉改革と新エンゼルプラン《全国保育団体連絡会・保育研
Y01-002	家族をめぐる制度と構造改革《坂井隆憲, 他》
Y01-004	先進6カ国の育児と就労の両立支援比較《前田正子》
Y01-005	女子労働の背景と女子雇用管理基本調査にみる育児休業制度・介護休業制度の状況《竹田久美子》
Y01-006	育児休業制度の利用状況と、出産を通じた就業継続の状況《永瀬伸子, 他》
Y01-007	回答企業の育児休業制度および他の支援制度《永瀬伸子, 他》
Y01-008	企業担当者に対するケーススタディ (第4章 ケーススタディ分析] 第1節)《岩科志津子》
Y01-009	育児休業制度利用者に対するケーススタディ《林廓子, 他》
Y01-010	育児休業制度、介護休業制度(育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律)の概要
Y01-012	男女共同参画社会の実現を目指して (国の施策)《内閣府男女共同参画局》
Y01-028	日本における「ファミリーフレンドリー」施策の現状と課題《佐藤博樹》
Y01-029	少子化対策としての保育サービスの課題《山縣文治》
Y01-030	父親の育児ー「父親育児推奨論」にみる男性の育児参加の理由づけー《内田哲朗》
Y01-050	イギリス、及びヨーロッパ諸国における出産・育児支援政策と 出生率との関連について《福田亘孝》
Y01-051	少子化に関する家族・労働政策の影響と少子化の見通しに関する研究《新谷由里子》
Y01-052	厚生労働白書 平成13年版 生涯にわたり個人の自立を支援する厚生労働行政《厚生労働省[監修]》
Y01-053	女性が能力を発揮できる雇用環境の整備《[厚生労働省]》
Y01-054	少子化対策の推進《[厚生労働省]》
Y01-068	性と生殖をめぐる自己決定を考える《齋藤有紀子》
Y01-070	中小企業育児支援と育児休業制度ー中小企業19社の事例からー《上林千恵子》
Y01-071	子育て支援施設の整備およびサービス状況における地域特性の分析《佐藤秀紀》
Y01-072	少子化対策の推進に向けて(千葉県)《末岡隆則》
Y01-073	かがわエンゼルプラン21 (地方庁トピックス 香川県)《鹿沼均》
Y01-074	21世紀の社会保障を展望して(9) 少子化社会における子育て支援《21世紀の社会保障研究会》
Y01-075	子の扶養と介護保険料との関連《土田武史》
Y01-076	兵庫県 日本の縮図での少子化対策 (地方庁トピックス)《山田英樹》
Y01-077	社会保険による育児支援の意義と可能性(上)《鈴木真理子》
Y01-079	社会保障の新しい方向ー少子高齢社会の課題ー《石本忠義》
Y01-086	少子化と政策ニーズ《前田信彦》
Y01-089	女性の出産と就業継続の両立について《駿河輝和》
Y01-100	女性の就業継続と育児休業制度《永瀬伸子》
Y01-101	少子化と関連諸施策の動向と方向性-地域の視点から《小山泰代》
Y01-103	上昇した出生率《湯沢雅彦, 他》
Y01-106	共働き家庭と社会の子育て協力 (第5章)《中原順子》
Y01-114	少子化政策と不妊治療《仙波由加里》
Y01-121	人口減少で生産性が上昇し、日本経済は発展する《原田泰》
Y01-122	保育所コストの引き下げが急がれる《原田泰》
Y01-123	家事・育児をサポートするサービス供給が不可欠《原田泰》
Y01-124	女性・高齢者の働きで人口減少社会を支える《原田泰》
Y01-137	少子化と教育について《波塚章生》
Y01-138	ライフサイクルからみた少子高齢社会の問題《岡崎陽一》
Y01-144	日本における低出生力と家族政策に対する態度 (再分析)《Kojima, H.[小島宏]》
Y01-145	新エンゼルプランとこれからの保育《山本真美》
Y01-146	保育所保育料の利用者負担の実態と保育料政策ー名古屋市保育料負担実態調査を中心にー《中村強士》
Y01-148	少子化対策推進基本方針は有効かー日本の出生率低下の要因をめぐってー《相田雅美》
Y01-151	子育て産業の育成《中村紀子》
Y01-152	保育バウチャー制度の可能性《駒村康平》
Y01-154	データに垣間みる育児期と夫と妻ーその仕事と暮らしー《鈴木春子》
Y01-155	「男女共同参画社会」化への価値観とイメージ《宮崎郁子》
Y01-156	少子高齢化社会への政策対応《中村実, 他》
Y01-159	小泉内閣の保育改革ーその思想と手法《垣内国光》

文献番号	標 題《著・編者》
Y01-160	小泉内閣の保育改革方針と厚生労働省の主張《垣内国光編》
Y01-161	保育サービスの拡充、保育所の規制緩和に関する厚生労働省の施策と関連資料《垣内国光編》
Y01-162	東京都が進める認証保育所制度とはどういうものか《垣内国光編》
Y01-171	男女共同参画政策の推進にあたって《福田康夫》
Y01-172	男女共同参画社会の実現に向けた取組《内閣府》
Y01-173	男女共同参画会議の動き《内閣府》
Y01-174	関係省庁の取組（〔特集 男女共同参画社会の実現に向けて〕）《警察庁、他》
Y01-177	少子高齢化は心の都市政策《樋口恵子》
Y01-178	少子高齢化と社会保障構造改革の方向《坂口政之》
Y01-181	少子化時代の子どもの育ち・子育て支援施策《森田明美》
Y01-195	高齢少子化と21世紀の労働力需給—出生率引き上げ策は有益か？《後藤純一》
Y01-198	働く女性の実情 平成12年版〔女性労働白書〕《厚生労働省雇用均等・児童家庭局》
Y01-203	子育て家庭支援と保育所の役割《柏女霊峰》
Y01-204	〈仮称〉子育てビジョン金沢21(新金沢エンゼルプラン) (地方版エンゼルプラン)《中村宏》
Y01-205	「少子化」「子育て」を考える⑨《長田浩志》
Y01-206	秋田市エンゼルプラン改訂版について（〔地方版エンゼルプラン〕）《鷲谷達夫》
Y01-207	「少子化」「子育て」を考える⑩《長田浩志》
Y01-208	鹿児島市の子育て支援計画「かごしますくすく子どもプラン」(地方版エンゼルプラン)《大徳義信》
Y01-209	千葉市児童保健福祉推進計画(千葉市版エンゼルプラン)について《飯島弘身》
Y01-210	「家庭・地域・社会の絆で支え合う子育て・育ち」について—淡海の子どもの未来と少子化を考える県民会議提言— 《長田浩志》
Y01-211	「結婚ワクワク子どもすくすくプラン—奈良県少子化対策実施計画—」について（〔地方版エンゼルプラン〕）《橋本俊
Y01-212	「少子化」「子育て」を考える⑪《長田浩志》
Y01-213	「新北九州市保育5か年プラン」を策定—子育て育ちを支えるまち・北九州を目指して— (地方版エンゼルプラン) 《藤川智久》
Y01-214	第二次 ふくいつ子エンゼルプラン《西村重稀》
Y01-215	「少子化」「子育て」を考える⑫《長田浩志》
Y01-216	福山市児童育成計画について（〔地方版エンゼルプラン〕）《開原算彦》
Y01-217	富山市児童育成計画(主要事業計画について)《有岡芳久》
Y01-218	社会保障改革と将来の子育て支援《京極高宣》
Y01-219	過疎地域における保育サービスのあり方の総合的検討《山縣文治》
Y01-220	保育所制度の現状と課題《柄尾勲》
Y01-221	新エンゼルプランと多様な保育ニーズへの対応《小西哲郎》
Y01-222	21世紀に対応する社会保障の連動とその意義《古橋エツ子》
Y01-229	我が国における少子化の要因と対策の在り方《石橋順三》
Y01-230	少子化対策の推進に向けて—12項目の政策提言と参議院決議—《白戸千啓》
少子化の要因への対応(地方):エンゼルプラン・育児環境・職場環境・など	
95-034	地方版エンゼルプランづくりのために「児童育成計画策定指針」の主なポイント《〔地方児童育成計画指針策定委員会(厚生省)〕》
95-052	児童育成計画策定指針について(地方児童育成計画指針策定委員会) (地方版エンゼルプラン)《地方児童育成計画指針策定委員会》
96-015	静岡県子育て支援総合計画(ふじのくにエンゼルプラン)の策定を終えて《静岡県民生部こども家庭課》
96-016	子育て支援の「休日保育サービス事業」(事例)《寺菌裕》
96-040	鳥取県子育て支援総合計画について(地方版エンゼルプラン)《伊藤善典》
96-041	すこやか保育支援事業(地方版エンゼルプラン)《今井明》
96-042	大阪府緊急保育対策等五か年事業推進計画について(地方版エンゼルプラン)《隆キ大我》
96-043	かながわ子ども未来計画—児童福祉を中心としたアクションプログラム—(素案)の概要(地方版エンゼルプラン)《前
96-044	「みやぎ子どもの幸福計画」の策定について(地方版エンゼルプラン)《山本麻里》
96-045	新潟子育て支援総合計画の概要(地方版エンゼルプラン)《神保和男》
96-046	徳島県子育て支援計画「とくしま子ども未来21プラン」の概要(地方版エンゼルプラン)《廣野稔》
96-047	少子化対策について《真鍋伸子》
96-048	おおいた子ども育成計画の概要(地方版エンゼルプラン)《佐藤和子》
97-106	「やまがた子どもプラン」について(地方版エンゼルプラン)《八神敦雄》
97-107	「群馬県の子育て支援計画」推進(地方版エンゼルプラン)《大橋利雄》
97-108	「ふじのくにエンゼルプラン」の概要(地方版エンゼルプラン)《森本操》
97-109	ふくいつ子エンゼルプラン(地方版エンゼルプラン)《朝倉八千代》
97-110	児童家庭福祉の潮流と保育所をめぐる課題《網野武博》
97-111	「北海道エンゼルプラン」=北の大地でのびのび子育て=の概要(地方版エンゼルプラン)《奇藤公三》
97-112	「すくすく育ち子育てプラン」について(地方版エンゼルプラン)《鈴木宗男》
97-113	「みやぎ子ども未来プラン」について(地方版エンゼルプラン)《田上嘉尋》

文献番号	標 題《著・編者》
97-114	青森県子育て支援計画「あおもりすくすく子育てプラン」（地方版エンゼルプラン）《音喜多誠》
97-115	京都府子育て支援計画「きょうと未来っ子21プラン」について（地方版エンゼルプラン）《工藤充子》
97-116	香川県子育て支援計画（香川いきいきエンゼルプラン）の概要－安心して子どもを生み育てる環境づくりをめざして－《川崎聖之》
98-054	女性の就業、結婚と出産の決定要因－全国都市データを用いた実証分析《永瀬伸子》
98-059	子育ての具体的場面ごとに、施策の方向性について《子ども未来財団》
98-061	エンゼルプラン西東（石川県）
98-062	エンゼルプラン西東（埼玉県所沢市）
98-063	エンゼルプラン西東（秋田県）
98-064	エンゼルプラン西東（大分県）
98-065	エンゼルプラン西東（東京都）
98-066	エンゼルプラン西東（新潟市）
98-067	エンゼルプラン西東（仙台市）
98-079	子育て支援策の効果に関する研究2《浅子和美，他》
98-118	旭川における地域子育て支援センターの事業と役割《太田光洋，他》
98-149	鹿児島県のびのび子どもプラン－鹿児島県子育て支援総合計画－（地方版エンゼルプラン）《月野健一》
98-150	「大好きいばらぎエンゼルプラン」について（地方版エンゼルプラン）《武類晃》
98-151	熊本県子育て支援計画－くまもと子どもプラン21について－（地方版エンゼルプラン）《馬原志磨子》
98-152	秋田県児童育成計画（あきた21子どもプラン）の概要（地方版エンゼルプラン）《竹村達三》
98-153	淡海エンゼルプラン－滋賀県子育て支援総合計画－（地方版エンゼルプラン）《川上雅司》
98-154	すこやか子どもプラン－富山県児童育成計画－（地方版エンゼルプラン）《山本勝徳》
98-155	兵庫県少子化対策総合推進計画－“すこやかひょうご”子ども未来プランの概要－（地方版エンゼルプラン）《鎌谷宗
98-156	行動計画策定から四年、新たな課題にチャレンジ－山口県児童環境づくり行動計画の策定とその後－（地方版エンゼルプラン）《度山徹》
98-157	愛媛県地域子育て支援計画（愛媛版エンゼルプラン）の概要－保育対策進展への指針－（地方版エンゼルプラン）《山岡昌徳》
98-158	ながさきエンゼルプラン－少子化時代における子育て支援社会の構築と二十一世紀のながさを担う子どもの健やか野育成－（地方版エンゼルプラン）《松下宜敬》
98-160	子育て支援の社会づくりをめざして－喜の国エンゼルプランの推進－（地方版エンゼルプラン）《渡辺由美子》
98-162	沖縄県子育て支援計画（おきなわ子どもプラン）の進捗状況と課題（地方版エンゼルプラン）《山内優子》
98-172	見つめてみよう！ わたしたちの少子・高齢化社会《横浜市企画局少子・高齢化社会対策室編》
99-090	エンゼルプラン西東（三重県）
99-091	エンゼルプラン西東 栃木県栃木市《[こども未来財団編]》
99-092	子育て自主グループネットワーク形成促進事業 子育てネットワークに県が助成 《[こども未来財団編]》
99-093	エンゼルプラン西東（千葉県）
99-094	エンゼルプラン西東（山形県）
99-185	地域子育て支援センターの現状と課題－愛知県内の実態調査から－《白石淑江》
99-202	八千代市育児支援センター「すてっぷ21」－地域の子育てセンターの設置・運営－（千葉県八千代市）《[八千代市]計画・調整局特別調整課》
99-204	福岡県児童育成計画（福岡県版エンゼルプラン）の概要－子どもと子育てにやさしい社会をめざして－（地方版エンゼルプラン）《栗村文夫》
99-205	やまなしエンゼルプランについて（地方版エンゼルプラン）《窪田幸雄》
99-206	子育て支援社会の形成をめざして：佐賀県子育て支援計画（さがエンゼルプラン）の推進（地方版エンゼルプラン）《土屋治人》
99-207	ふくしま子育て新時代は、つぎのステージへ（地方版エンゼルプラン）《永澤裕二》
99-208	高知県エンゼルプランについて（地方版エンゼルプラン）《古谷滋子》
Y00-147	新エンゼルプランの策定に向けて（石川県）《榎本健太郎》
Y00-221	特別保育事業への取り組みにみる北海道の保育所の課題と方向－都市部と町村部に2極化する問題－《太田光洋》
	少子化の要因への対応（国外）
90-009	出生促進政策と国際人口移動政策の関係《小島宏》
91-004	ドイツの女子労働と育児保障《古橋エツ子》
91-006	アメリカの家族と保育－「家族政策」の実現を求めて－《杉本貴代栄》
91-007	ドイツの家族機能と家族政策《本沢巳代子》
91-008	スウェーデンの出生構造と政策対応《三瓶恵子》
91-013	人口問題に関する国民の意識構造の分析－「人口問題に関する意識調査」の結果から－《阿藤誠，他》
92-008	西欧諸国における出生率の動向と政策的対応《阿藤誠，他》
93-002	アメリカにおける保育サービスの現状と保育政策の課題《下夷美幸》
93-004	出産・育児に対する支援制度のあり方－フランスの例を検討しながら日本の制度形成を考える－《松橋恵子》
94-001	家族政策の基本原則（上）《小島宏》
94-004	フランスにおける家族政策の効果《小島宏》
95-015	家族政策の基本原則（下）《小島宏》

文献番号	標 題《著・編者》
96-011	少子化の背景と少子社会への対応－国際比較の視点から－《阿藤誠》
96-012	少子化と家族政策－先進国の事例を踏まえて－《小林朋野》
96-031	人口問題に関する国民の意識構造の分析－「第4回人口問題に関する意識調査」の結果から－《金子武治、他》
96-034	先進諸国の人口問題 少子化と家族政策《阿藤誠》
97-007	スウェーデンの出生変化と家族政策《津谷典子》
97-016	ドイツとEUにおける福祉国家の再構築－出生率の動向を視点として《シャルロッテ・ヘーン》
97-017	高齢社会における福祉国家の再構築－望ましい改革に向けて《ヘンリー・アーロン》
97-018	福祉国家の再構築－イギリスの経験《ジョン・ヒルズ》
97-029	人口政策の政治経済学－南北問題の一視角－《大淵寛》
97-047	出産・子育てに対する公的支援－フィンランドの場合《田中里美》
97-050	社会保障50年《近藤功》
97-066	人口変動と家族《阿藤誠、他》
97-069	ドイツにおける出生率および家族政策－一つから二つ、二つから一つのドイツの体験－《シャルロッテ・ヒョーン》
97-076	日米英における育児休業・出産休業と女性就業《樋口美雄、他》
97-078	スウェーデンの家族政策と出生動向 第二次世界大戦後を中心として－《少子・高齢化に関する国際研究委員会編》
97-096	スウェーデン：少子・高齢化への対応《岡沢憲美》
97-122	少子化と社会保障に関する一考察－子育てにおける家族の自助原則と社会保障をめぐって－《永山くに子》
98-007	少子化の原因と価値観《鈴木りえこ》
98-051	先進諸国における家族政策変動の出生力に対する影響《小島宏》
98-053	少子化対策の経済分析《大森正博》
98-068	ノルウェーの男女平等政策と男性の育児休暇《石井クンツ昌子》
98-070	地域における子育て支援のあり方－英国のファミリーセンターを例として－《清水隆則》
98-082	少子化対策に関する国際比較研究《伊部英男》
98-084	諸外国における男性の育児参加に関する調査研究《日本労働研究機構編》
98-096	問題提起：少子化の背景と政策的対応《阿藤誠》
98-097	イギリスにおける親になることと家族生活《キアナン、C.E.》
98-098	ヨーロッパ連合EU15カ国の人口置換水準以下の出生力－1960～2000年の動向と政策－《シェネ、ジャン＝クロール》
98-099	出生力低下：誰の問題か？《上野千鶴子》
98-101	討論（特集Ⅰ：第2回厚生政策セミナー「少子化時代を考える」）《阿藤誠、他》
98-117	人口・家族政策の展開と有効性《阿藤誠》
98-130	フランスにおける家族政策の変化と女子の労働供給－わが国にとっての含意－《小島宏》
98-142	アメリカにおける企業の家族支援制度の展開《藤本哲史》
98-148	フランスの出生動向と家族政策《少子・高齢化に関する国際研究委員会編》
98-159	少子化と家族政策の世界的潮流－第一回－《西村淳》
98-161	少子化と家族政策の世界的潮流－第二回－《西村淳》
99-009	EUにおける保育・家族政策と男性の保育参加《木下比呂美》
99-010	児童手当の国際比較《大塩まゆみ》
99-011	家族政策の国際比較－現状・課題・方法に関する一考察－《所道彦》
99-036	日米英における企業の育児支援と女性就業《樋口美雄、他》
99-039	国際比較に見る保育・就業支援制度と出生行動《小島宏》
99-070	少子化対策に関する国際比較研究《伊部英男、他》
99-078	少子化対策に関する国際比較研究《伊部英男、他》
99-108	4歳児の7割が家庭で保育②：イギリス・フランスの少子化対策を調査《伊奈川秀和》
99-117	少子化と社会法の課題《高藤昭編著》
99-121	少子化と家族政策－ニュージーランドの例《武内砂由美》
99-126	少子化に対する立法的対応の可能性《中野育男》
99-127	少子化と財政・社会保障《木村陽子》
99-133	少子化問題に係る社会的公平性の確保に関する調査研究報告書《兵庫県長寿社会研究機構長寿社会研究所》
99-134	アメリカの家族政策と児童保護《北田育子》
99-135	イギリスにおける「少子化問題」《田中優》
99-136	カナダの家族政策《森山玲子》
99-137	スウェーデンの少子化問題と家族政策《岡光昇》
99-138	ドイツ連邦共和国の少子化対策《平田謙輔》
99-139	フランスの家族政策《島本美智男》
99-140	中国の一人っ子政策と人口高齢化《王立新》
99-141	少子化と社会的公平性《足立正樹》
99-142	諸外国の児童育成環境対策に関する現状調査事業 海外調査報告書 平成10年度《こども未来財団》
99-143	女性と税制 ジェンダーにみる福祉国家の再構築《スコット、クラウディア・編、古郡嗣子編訳》
99-195	先進諸国における社会保険と少子化対策《府川哲夫》

文献番号	標 題 《著・編者》
Y00-008	少子化対策の国際比較－社会保障先進国の経験とその評価について 《増淵勝彦》
Y00-081	先進諸国における出生率の変動要因と政策の影響 《小島宏》
Y00-094	先進諸国の少子化の動向と少子化対策に関する比較研究 《赤地麻由子》
Y00-096	厚生科学研究政策科学推進研究推進事業研究実績報告書 平成11年度
Y00-170	家族政策の国際比較研究 《都村敦子》
Y00-171	育児支援に関する国際比較研究 《白波瀬佐和子》
Y00-172	税財政システムから見た少子化対策 《金澤史男》
Y00-232	諸外国の政策、生き方を模索する女性たち 《鈴木りえこ》
Y01-004	先進6カ国の育児と就労の両立支援比較 《前田正子》
Y01-050	イギリス、及びヨーロッパ諸国における出産・育児支援政策と出生率との関連について 《福田亘孝》
Y01-078	働く母親への支援比較－先進六か国を取り上げて(上)－ 《前田正子》
Y01-182	EU諸国の子育て支援政策 《福田亘孝》
理論	
90-005	P. ブルデューの「出生力戦略」の人口学的評価 《小島宏》
93-005	多地域レスリー行列を用いた47都道府県別将来推計人口の試み 《南條善治, 他》
93-006	年齢別出生率の将来推計システム 《金子隆一》
96-030	人口学研究のフロンティア 《岡田實, 他》
97-023	コーホート要因法による地域人口予測の課題－山口県を例として－ 《平尾元彦》
97-034	現代人口政策論 《岡崎陽一著》
98-032	出生数と世代間分配の内生的決定に関する一考察 《坂上智哉》
98-102	出生力変動モデル構築のための基礎研究 《大淵寛, 他》
98-171	マルサス人口論の200年 《岡田實, 他》
99-085	人口動態市区町村別統計へのベイズ統計の応用について (2) 合計特殊出生率への応用 《佐伯則英, 平子哲夫, 中
99-155	人口統計学 増補改訂版. 《岡崎陽一著》
Y00-046	共有地の悲劇としての少子化 《兼清弘之》
Y01-093	結婚モデルの構築と将来予測 《加藤久和》
Y01-115	結婚の経済学 (第4章) 《加藤久和》
Y01-116	家計内財の生産と男女の属性 《加藤久和》
Y01-117	出生・結婚と労働供給 (第6章) 《加藤久和》
Y01-118	バツツ=ウォード・モデルと推定方法に関する議論 《加藤久和》
Y01-119	少子高齢化とマクロ経済 《加藤久和》
Y01-184	均等度及び育児支援度の指標化の方法 《武石恵美子》
Y01-226	出生率低下をどのようにとらえるか?－年齢別有配偶出生率の問題性－ 《廣嶋清志》

図書文献番号：1

タイトル：「男女共同参画に関する研究会」報告書—経済主体・経済活動の多様化と活性化
を目指して—

著者：経済産業省 男女共同参画に関する研究会（大沢真知子，太田和裕，上條茉莉子，
玄田有史，駒村康平，中村紀子，廣渡太郎）

出版年：2001年

テーマ：

本報告書は、人的資源の有効活用による経済社会の活性化を目指し、人的資源として、
また、多様な社会参画としての女性の重要性について論点を整理し、経済的見地から取り
組むべき事柄、特に保育サービス、税・社会保障制度、働き方について検討している。

内容：

第1章「女性の社会参画についての現状認識」では、女性が経済社会、とりわけ就業の
場に人的資源としてどのように参画しているのか、その現状について問題意識を整理して
いる。

日本の女性の年齢階級別労働力率がM字型であるのに対して潜在有業率が逆U字型であ
ることから、就業を希望しているのに就業できない女性が多数存在していることを指摘し、
育児支援の環境整備、離職中のスキル維持・向上を支援するための体制整備を講じること
が急務であるとしている。また、女性にとって何が必要であるのか、どのようなアクション
を推し進めていくべきかを考える際、女性の多様性を前提として様々なプログラムを想定
する必要がある。例えば、育児後の就業行動でも、再就職を図るグループと再就職をしな
いグループの2つが存在し、こうしたグループの志向の差を考慮せずに、一律に「女性」
に対するプログラムを推進しても、限定的な効果しか得られないだろう。

現在、女性の年齢階級別労働力率が「逆U字型」を描いている欧米の国々が、「きりん型」
→「M字型」→「逆U字型」という変化を辿ってきたことを踏まえると、女性の就業率上
昇の背景には、まず、子育て後の女性が労働市場に復帰できるような素地が整い、その後
次第に、育児期の就業継続を可能にする環境が整備されたと考えられる。これらの国々で
女性の就業を促進した背景には、サービス経済化の進展やパートタイム就労の増大がある
一方で、法整備等の女性労働に関する公共政策の充実も重要な促進要因である。アメリカ
では、1964年に「公民権法」が制定され、他の先進諸国よりも早く性差別禁止の法制化が
なされ、1960年代から1980年代にかけて女性や少数民族などのマイノリティの雇用促進
や差別撤廃のため、政府が企業の人事管理に直接介入してきたという経緯がある。スウェ
ーデンの場合、こうした制度よりも、税制や、政府による育児支援政策の方が重要な意味

を有していた。スウェーデンでは、1965年以降、夫婦別々に税申告することが認められ、片働き世帯より共働き世帯の方が税負担が軽くなり、女性の就業に対するインセンティブが高まった。また、育児休暇中の所得保障、保育施設の拡充など、政府による保育プログラム推進も女性の就業促進の重要な要因である。

日本においては、出産・育児等で仕事を中断することが女性のキャリア形成に大きな影響を与えており、育児支援の体制整備、「働き方」そのものの問い直し、就業中断中のスキルアップ支援、現在の離職が不利になるシステムについて検討し、労働市場におけるより適切なマッチングを図る必要があることを指摘している。

第2章「保育サービスをめぐる現状と課題」では、まず、保育の歴史的経緯とその背景について紹介し、次いで、保育に関する多様なニーズがある一方で大量の待機児童が存在していることや保育分野での規制緩和など、保育をめぐる現状を概説している。

こうした状況を踏まえ、保育サービスの量的・質的拡充を実現するには、従来の自治体や社会福祉法人に加え、民間企業の活力を活用していく必要性を指摘し、民間企業が保育ビジネスに参入する際の障壁除去の方策を検討している。また、保育事業者が利用者のニーズに合わせたサービスを提供するインセンティブを高めるため、保育バウチャー制度を導入し、利用者と保育サービス提供者が直接契約を結ぶ形態をとり、利用者が保育サービスを選ぶ権限をより強化した仕組みづくりを提言している。

第3章「諸制度の影響」では、従来、女性の就業行動に影響を与えていると指摘されてきた税制・社会保険・年金等の公的制度や、配偶者手当等の諸慣行など、諸制度のあり方について検討している。

一般的な年収の給与と所得者の配偶者がパートタイマーとして働いた場合、パート収入の増加が世帯収入に及ぼす影響について、パートの時給ごとにいくつかのモデルケースを設定し、試算している。その結果、年収103万円を超えることによる家計への影響よりも、年収130万円を超えることによる家計への影響の方が大きいことが明らかになった。これらの“壁”を超えて世帯の実所得が元に戻るためには、時給1260円の場合で、「103万円の壁」では約16日間、「130万円の壁」では約21日間、“ただ働き”する必要がある。また、厚生年金の加入は労働時間の長短に関係しているため、「130万円の壁」を境に表れる影響は、時給が高い場合の方が低い場合よりも大きいことが示された。このように、諸制度の適用によって、低い時給で働いた方が有利になるというのは、経済的合理性の観点から考えても矛盾していると指摘している。

年金における第3号被保険者制度については、就業調整をして年収130万円未満に抑えている人を、「収入がない」「保険料を負担できない」人と同じ範疇で取り扱うことには合理的根拠が乏しく、徴収事務等の実行可能性の問題はあるが、少しでも収入があれば、その収入に応じた負担をすべきことを指摘した上で、特に、世帯形態間の公平性と遺族年金の2点に関して更に検討している。